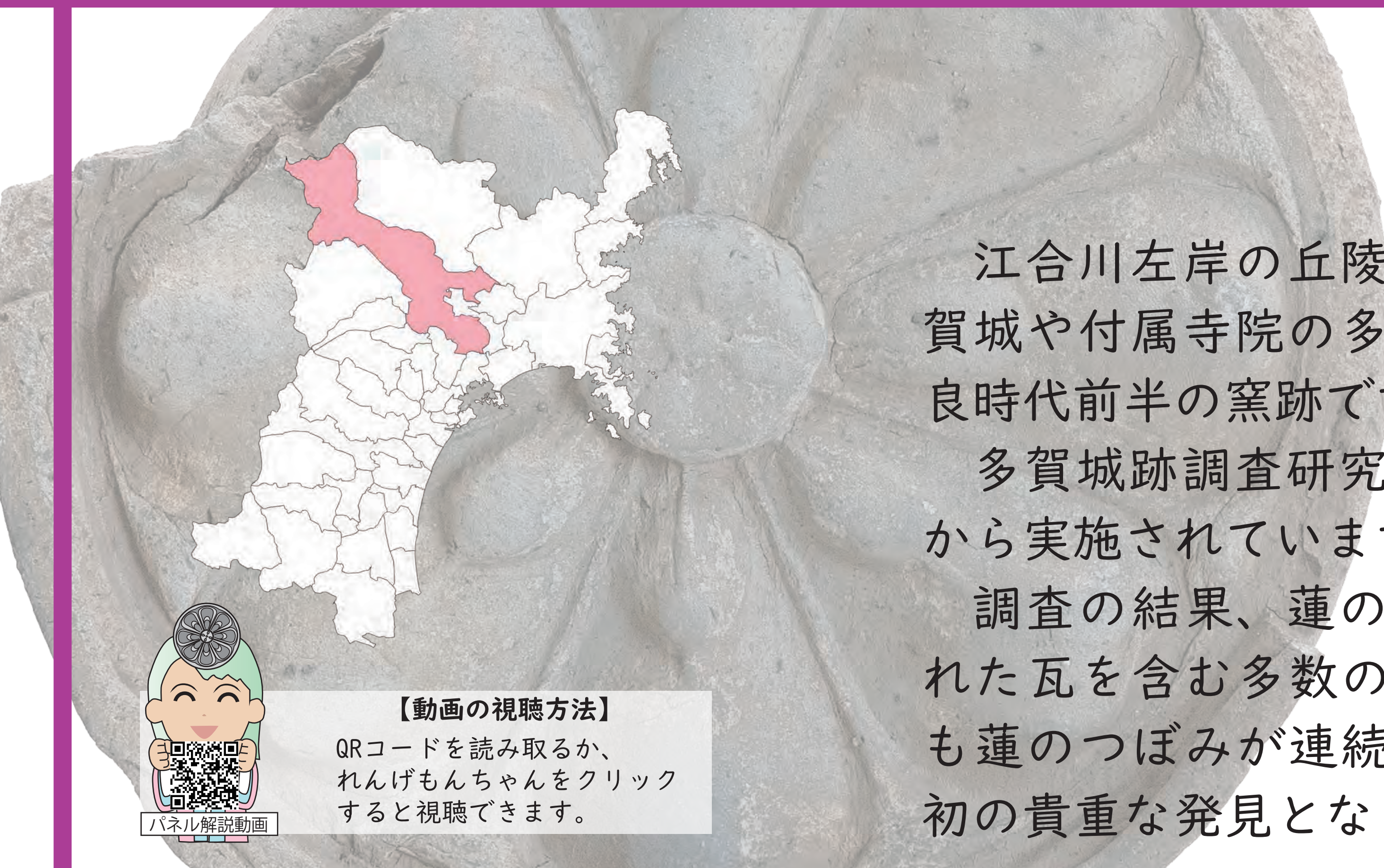




こくふ 国府を飾る蓮の花

⑦国指定史跡

だいきちやまかわらかまあと
大吉山瓦窯跡
(大崎市古川小林)



江合川左岸の丘陵上に位置する、^{むつこくふ}陸奥国府多賀城や付属寺院の多賀城廃寺に瓦を供給した奈良時代前半の窯跡です。

多賀城跡調査研究所による調査が令和3年度から実施されています。

調査の結果、蓮の花の文様（^{もんよう}蓮花文）が描かれた瓦を含む多数の瓦が出土しました。なかでも蓮のつぼみが連続して描かれた文様は、県内初の貴重な発見となりました。

【動画の視聴方法】

QRコードを読み取るか、れんげもんちゃんをクリックすると視聴できます。



旧石器

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

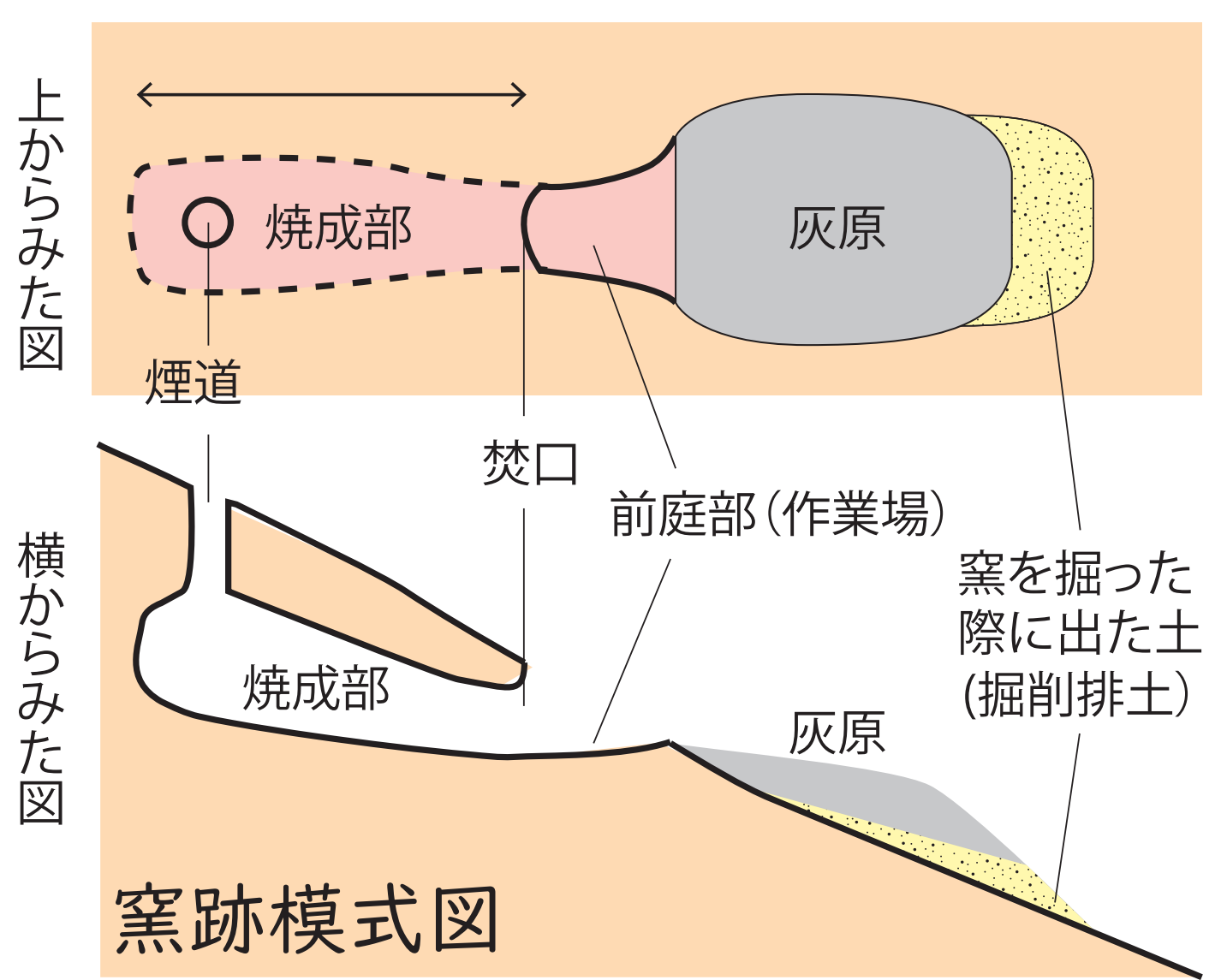
安土桃山

江戸

明治

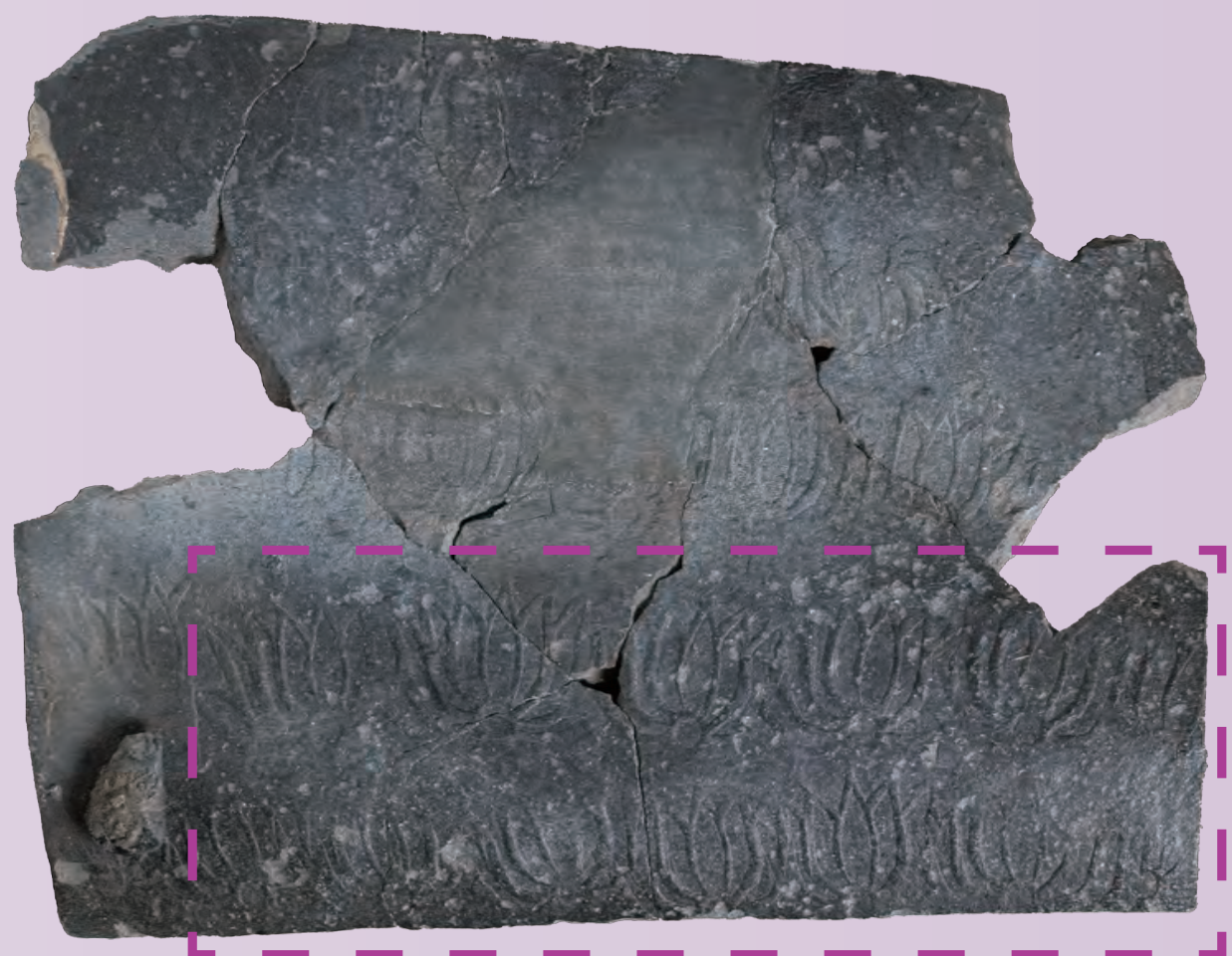


南東向きの斜面に窯跡が7基みついています。掘り下げて調査した窯跡は、焚口から煙道までの長さが約8mありました。



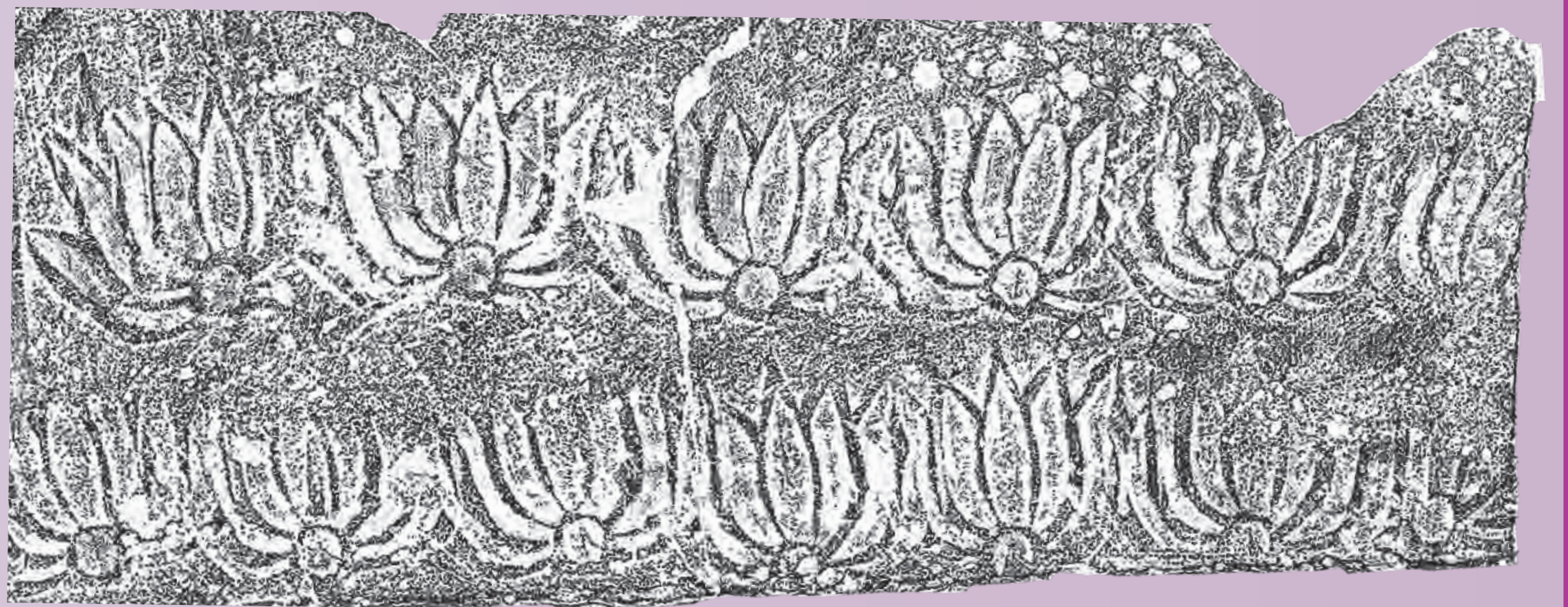
SR3 窯跡 (南から)

れんげもん
蓮花文が描かれた瓦



ひらがわら
平瓦

→
拡大



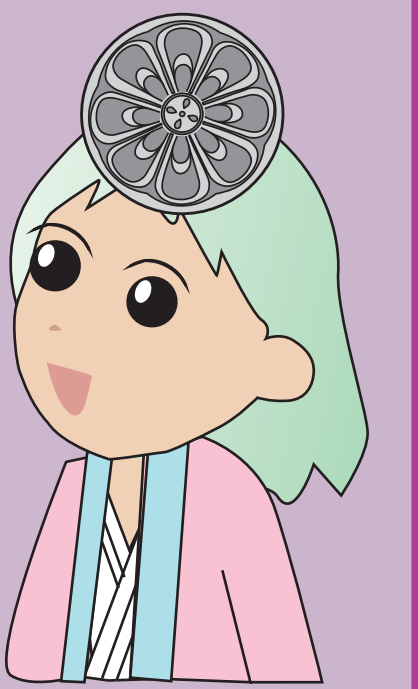
もんよう
蓮の花のつぼみを連続して表現した文様



のきまるがわら
軒丸瓦



おにいた おにがわら
鬼板 (鬼瓦)



古代の寺院や役所跡では蓮花文の瓦が多く使われるんだ。仏教に由来する文様と考えられているよ。

瓦の名称

奈良文化財研究所 2004
『古代の官衙遺跡 II 遺物・遺跡編』より

協力：多賀城跡調査研究所

